



電子モニタリング (EM) ワークショップ

一般社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構 (OPRT) は、標記ワークショップを下記により対面とオンラインのハイブリッド方式で開催します。

対面での参加については、OPRT 正会員、水産庁及び報道機関に限ることとし、オンラインでの参加については、OPRT 正会員・賛助会員、水産庁及び報道機関の合計で 100 名を上限として受け付けます。

オンラインで参加ご希望の方は、2月20日 (木) までに下記の問い合わせ先にメールにてご連絡ください。ご連絡いただいたメールアドレスにZoom招待状をお送りします (団体から複数名でご参加の場合も個別にお申込みください)。

なお、賛助会員はオンラインでの傍聴のみ (発言なし) とさせていただきます。また報道機関におかれましては、本件ワークショップに秘匿性の高い内容が含まれた場合は、記事にしないことを含め相談させていただきますのでご容赦願います。

一般の方は、OPRT 賛助会員へ加入登録を条件とします。前もって OPRT への加入登録をお願いします。年会費：個人 1 口 1,000 円、法人 1 口 10,000 円

記

1. 日 時： 令和7年 (2025年) 3月7日 (金) 12:30~14:30
2. 場 所： US半蔵門ビル5F アクセア第1会議室及びウェブ
3. 開催方式： 対面とオンラインのハイブリッド
※オンラインについては、ライブ配信のみで、アーカイブによる配信は行いません。
4. 議事概要
 - ・ RFMOにおけるEM議論の現状と日本の取り組み：日本政府水産庁
 - ・ EMへの取り組みに関する課題及び進捗状況等：OPRT会員
 - ・ 質疑応答・意見交換、及びモデレーターによる総括

5. 開催趣旨

近年、IUU漁業で捕獲された水産物の流通を防止するため、漁業操業の透明性向上が必要となっており、その手段としてマグロ漁船へのオブザーバー配乗や電子モニタリング (EM) 装置の設置が義務付けられている。

2023年のICCAT、IOTCに続き、IATTCも2024年9月の年次会合でEM基準を採択し、またWCPFCでも同年12月の年次会合で暫定最低基準を採択したことにより、マグロはえ縄漁業へのEMシステムの導入・実施については、世界的な課題として取り上げることが必要となった。

適切な形での導入・実施を進めるためには、関係者の間で情報共有を図ることが有用であると考えられ、このためにOPRT会員間でEMに関するワークショップを開催することとする。

(問合先) (一社) 責任あるまぐろ漁業推進機構 事務局長：千代 事業部長：人見
TEL：03-6256-9138 Eメール：maguro@oprt.or.jp

以上